

SSH生徒研究発表会

実施日・訪問先
内 容

平成30年 8月 9日(木)～10日(金) 神戸国際展示場
平成30年度SSH生徒研究発表会が、8月8日(水)～9日(木)に神戸国際展示場で開催されました。本発表会は全国のSSH指定校から発表生徒や教員が集まり、学校で取り組んでいる生徒研究の成果を発表するイベントです。

《1日目》

- ・基調講演「you can be a scientist from today」

東京理科大学 特認副学長 秋山 仁

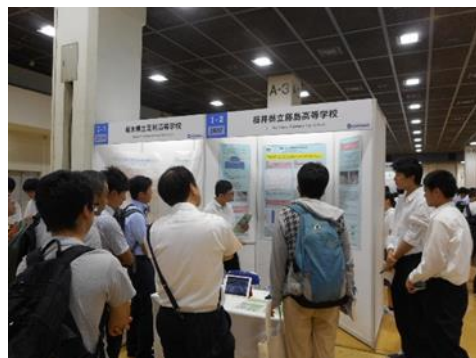
- ・ポスター発表

《2日目》

- ・口頭発表(代表校のみ)
- ・ポスター発表

本校は3年生の瀧波雄太さん、武田悠海雅さん、宮地将生さんの計3名が「水面における液滴の形の保存」というテーマでポスター発表を行いました。水面に水滴が落下する際、希に水玉ができるときがあり、本グループはその現象に大変興味を持ち、科学的に検証しました。水玉ができる条件としては、落下の高さが低いほど、水滴の大きさが小さいほど発生しやすいことや、ある水温以上では著しく発生が抑えられることが分かりました。また、水面に洗剤(界面活性剤)を入れた水滴を落下させると、水玉の発生が著しく高まり、生存時間も長くなることも見つけました。発表当日は水玉ができる現象を動画に撮り、タブレットを使用して提示するなど、聞き手が分かりやすいように工夫し、丁寧に説明していました。

水玉を発生させる条件を探していた研究でしたが、水玉を発生させない条件のように、視点を変えるだけで必要としている企業などもあるのではという、逆転の発想による貴重なアドバイスを見学者からいただきました。



また、海外招へい校の歓迎レセプションにも参加し、インドの高校生たちと文化紹介や学校紹介を行い、交流を深めました。